



彩の国プラチナ特別編成合唱団

ちえじゆ

第8回済州国際合唱祭招待演奏

2024 제주국제합창축제앤심포지엄
**Jeju International
 Choir Festival & Symposium**

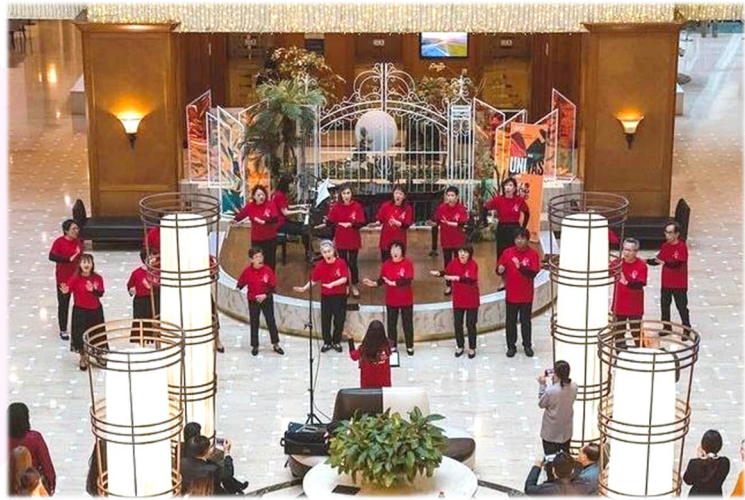
9 ランチャタイム ロビーコンサート

実行委員会 令和6年(2024) 2月29日

ロビーコンサート Lobby Concert in Ramada Plaza Jeju Hotel

大会中の2月20～22日は海外招待合唱団によるロビーコンサートがラマダプラザ済州ホテルで行われました。

彩の国プラチナ特別編成合唱団は、アメリカのミズーリ州立大学合唱団とともに、2日目(21日)のランチタイムに演奏しました。



お気に入りのTシャツで振りを付けて



ロビーコンサートは音楽ホールのステージとは異なり、大会関係者や一般のホテル利用者も自由に出入りしながら聴くことができる気楽な雰囲気の中で行われました。

揃いの赤いTシャツに身を包み、ちょっと若やいだ気分で楽しく演奏できました。

演奏曲は、「リフレイン」詩・覚和歌子／曲・信長貴富、「竹とんぼに」詩・岸田衿子／曲・木下牧子、「涙をこえて」詩・永六輔／曲・中村八大、「ふるさと」詩・高野辰之／曲・岡野貞一(信長貴富編曲)でした。ホテルのロビーは反響板に当たるようなものがなく、響かないのではないかと心配しましたが、最初の曲「リフレイン」のピアノの前奏が天井まで届いていたと思います。われわれの演奏の出来はわかりませんが、心を込めて歌いました。



ロビーに設えられた丸いステージの中央にピアノが設置され、それを取り囲むような並びで歌いました。





韓国の熱い聴衆に感動！

塩崎めぐみ（ソプラノ）

韓国・済州島で開かれた「第8回済州国際合唱祭」に参加しました。今回は、アメリカ、インドネシア、エストニア、日本、フィリピン、ラトビアの6カ国が招待され、韓国の合唱団とともに歌声を披露しました。各国の合唱団員や合唱好きなお客様で満員のホールは、「歌いたい！」「聴きたい！」という熱気でむせ返るようで、1曲終わるごとに盛大な拍手、大きな歓声に包まれました。日本での合唱祭や演奏会では経験したことのない大きな反応でした。次はどんな曲が聴けるのだろうという聴衆の期待と、次はここを聞いて欲しいという合唱団の思い・・・そんな熱い思いのステージが続きました。



日本から参加した「彩の国プラチナ特別編成合唱団」は、毎年4月に開催される「国際シニア合唱祭ゴールデンウェーブin横浜」に「彩の国プラチナ混声合唱団」として参加しているメンバーの中から有志で結成されました。昨秋に参加者募集があり、19名（ソプラノ4、アルト10、男声5）が計7回の練習でステージに臨みました。他の国の合唱団は、大学生やセミプロ級など、同じ指揮者、同じメンバーで週に何度も練習しているのでしょうか、歌唱に安定感がありパフォーマンスもバッチリです。素晴らしい演奏が続く中、少し不安にもなりましたが、素晴らしいホールのステージに立つとそんなことは忘れてしまい、本当に楽しく気持ち良く歌うことができました。万雷の拍手や歓声に感動し嬉しかったです。ラマダホテルでのロビーコンサートとスペシャルコンサートの時に、日本の「ふるさと」を演奏しました。今回のステージのために3番の歌詞「志を果たして いつの日にか帰らん 山は青きふるさと 水は清きふるさと」を韓国語に訳して演奏しました。韓国の聴衆が「韓国語で歌っている」と気づいて、聞き入ってくださったことがとても印象的でした。

わたし達は公募合唱団ですから、初回練習の時には「はじめまして」のメンバーも多かったのですが、練習を重ねるうちに心を開き親しくなり、まるで何年も一緒に練習しているかのように団結してきました。今後、県の合唱祭などで再会する楽しみもあり、歌う仲間が増えました。

济州島全体が合唱王国

济州島^{ちえじゅうとう}を簡単に紹介します。この島は、朝鮮半島の南西、日本海、東シナ海、黄海の間にある火山島。島の中心には韓国で最も高い標高1,950mの漢拏山^{はるら}があります。人口は約66万人、面積は1,845 km²。日本で最も近い長崎県の五島列島まで180kmほどの距離です。1402年まで耽羅^{たんら}という独立した王国がありました。高麗や李氏朝鮮による併合後は流刑地となり、朝鮮半島からの人口流入は流刑の時くらいであり、独自の文化を保っていました。テレビドラマ「チャングムの誓い」では主人公が济州島に島流しされる場面が出て来ます。かつては産業が無い困窮地域でしたが、1960年代に在日韓国人らが日本からみかんの苗木を持ち込んで産業形成し、韓国政府の外国人観光客誘致政策で例外的にノービザで来られる観光地とされていたということです。首都ソウルと共に代表的な韓国の観光地となっています。济州島全体が济州特別自治道とされ、济州市が島の北半分、西帰浦市^{そきぽ}が南半分を市域としており、道都は济州市です。

「济州国際合唱祭&シンポジウム」(Jeju international Choir Festival & Symposium)は济州特別自治道の支援で開かれています。また、南側の西帰浦市^{そきぽ}では、「世界青少年合唱祭&コンクールin济州」(World Youth Choral Festival & Competition in Jeju)を毎年夏に開催しています。このフェスティバルは、未来を担う世界各国の若手歌手の音楽・文化交流の場であり、著名な合唱の専門家や講師によるコンクールやワークショップも体験できます。

第8回济州国際合唱祭参加 彩の国プラチナ特別編成合唱団実行委員会
江川善裕(代表幹事)、南めぐみ(芸術監督)、森川真弓(総務)、加藤良一(広報)

Back

[彩の国プラチナ混声合唱団TOPへ](#)

Home

[HOME PAGEへ](#)